

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 道路課

シート No.： 79

作成日： 2026.5/11

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	V都市基盤の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	3 快適な都市環境の整備を進める	道路の未整備区間や老朽化・破損による維持補修路線が多数点在する為、災害時や緊急時の車両の通行に支障をきたしています。 請願・陳情など道路整備・維持修繕の要望が多数ある中、関連事業と連携を図りながら、効果的・効率的な整備路線の選定を行う必要があります。 また、大型標識や照明などの道路附属物の維持管理により、道路環境を保全します。ソフト面では、道路に係る幅員等の情報提供に資するため、道路台帳の補正を行います。	災害時等に、防災拠点等に避難や物資輸送等がスムーズに行えるように、4m未満の狭隘な市道の整備、傷んだ道路の補修修繕、道路冠水箇所の解消、橋梁の長寿命化を行い、必要な機能を確保し安心・安全に通行できるように道路整備を実施しています。 道路附属物については、小規模附属物点検要領に基づく詳細点検を実施することで、老朽化した附属物の洗い出しを行い、危険な附属物の撤去・更新を検討します。 道路台帳については、電子化の実施により、道路情報提供についてサービス向上を図ります。
	施策	道路網の整備		
	施策内容	生活道路の整備推進、安全・安心な道路環境の整備		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	道路法、道路構造令、舗装維持修繕計画、橋りょう長寿命化修繕計画		
事務事業名		道路整備事業		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R7予算額	R7決算額
活動名・事業名 （対象年）	R7活動・事業内容	指標（単位）	R7目標値	R8目標値		
			R7実績値	R9目標値		
道路改良工事 （R7）	狭小な市道の拡幅工事や待避所設置工事、冠水箇所の排水整備工事等を行います。	改良工事発注件数（件）	14	－	216,989 千円	155,878 千円
			11	－		
道路改良事業説明会 （R7）	事業実施に必要な設計説明や用地協力依頼等を行い、関係地権者の理解を深めます。	説明会実施回数（回）	5	－	16,940 千円	0 千円
			3	－		
市道の補修 （R7・8・9）	破損した市道の補修を行います。	補修件数（件）	120	120	180,995 千円	141,817 千円
			144	120		
道路に係る除草作業 （R7・8・9）	道路に係る除草作業を行います。	委託件数（件）	60	60	61,448 千円	57,239 千円
			84	60		
橋りょうの維持補修 （R7・8・9）	長寿命化計画に基づき橋りょうの維持補修を行います。	補修件数（件）	1	1	26,000 千円	0 千円
			0	1		
用地補償 （R7）	道路用地取得にあたり、土地及び物件に関わる補償を行います。	契約件数（件）	50	－	15,783 千円	8,611 千円
			14	－		
道路台帳補正 （R7）	道路台帳の補正を行います。	委託件数（件）	1	－	25,000 千円	24,922 千円
			1	－		
道路台帳電子化 （R7）	紙ベースであった道路台帳を電子化します。	委託件数（件）	1	－	18,722 千円	18,700 千円
			1	－		
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R7実績値
市道改良工事件数	14 件	11 件
市道の補修件数	120 件	144 件

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
単年度で事業完了を見込んでいた市道の待避所設置事業について、他機関との境界確認協議に一定期間を要した事から、用地の取得や工事発注に遅れが生じています。今後は、他機関との事前協議回数を増やし進捗改善を図ります。 市道の補修及び除草の実績値については目標値を超過した結果となっています。橋りょうの維持補修については、予定した事業は発注済みではあるが、関係機関との調整に時間を要したため、繰越となっています。 なお、道路台帳電子化業務は五箇年計画の最終年度であり、道路台帳の電子化が推進されました。	☐ コスト	☒ 活動	☒ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	待避所設置事業は、一般的な道路拡幅事業と同様に用地取得・工事までに一定期間が要する事例が多い事から、短期的（単年度）事務スケジュールの他、中期的（複数年度）事務スケジュールも想定に加えて業務を進めていきます。 市道の補修については、採用する工法をより効果の高いものを選定し、同一の個所について繰り返し補修を行わなくてもよいような施工を検討していきます。			